

令和 6 年度

児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果

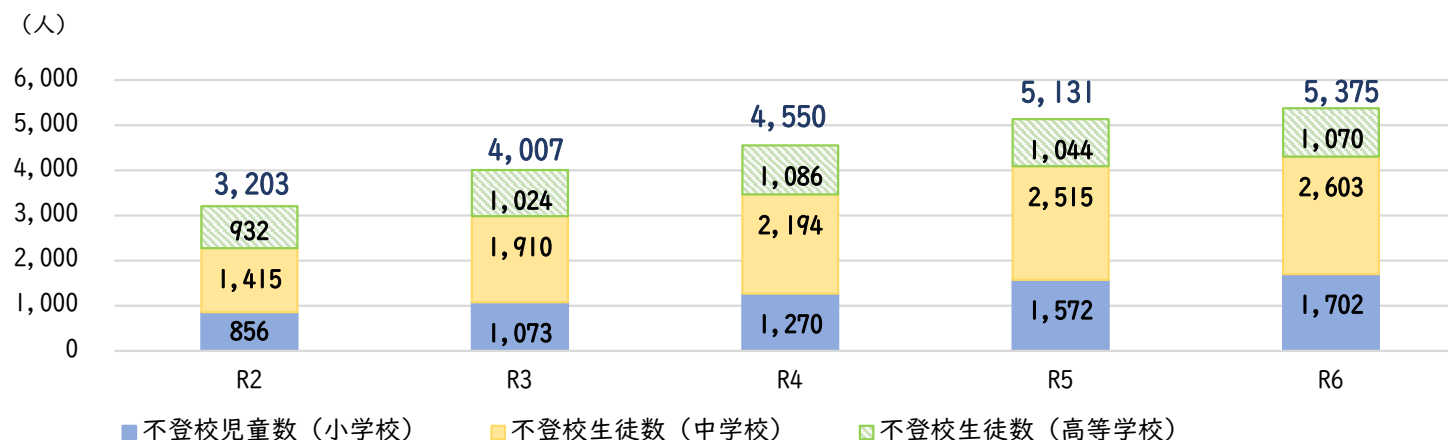
滋賀県

令和 7 年 12 月 24 日

不登校児童生徒数、専門的な相談・指導等を受けていない児童生徒数の推移

- 不登校児童生徒数は、5,375人（前年度5,131人）で、小学校1,702人（前年度1,572人）、中学校2,603人（前年度2,515人）、高等学校1,070人（前年度1,044人）であり、いずれの学校種においても昨年度に比較し、不登校児童生徒数は増加した。
- 1,000人あたりの不登校児童生徒数は、小学校22.2人（前年度20.1人）、中学校64.0人（前年度61.2人）、高等学校29.8人（前年度29.1人）となった。
- 学校内外の機関等で専門的な相談・指導等を受けていない児童生徒は1,997人（37.2%）であり、前年度より微増した。

図1 不登校児童生徒数の推移



【参考：1,000人あたりの不登校児童生徒数】

	R5	R6
○小学校	20.1人	22.2人
○中学校	61.2人	64.0人
○高等学校	29.1人	29.8人

図2 学校内外での専門的な支援等の状況

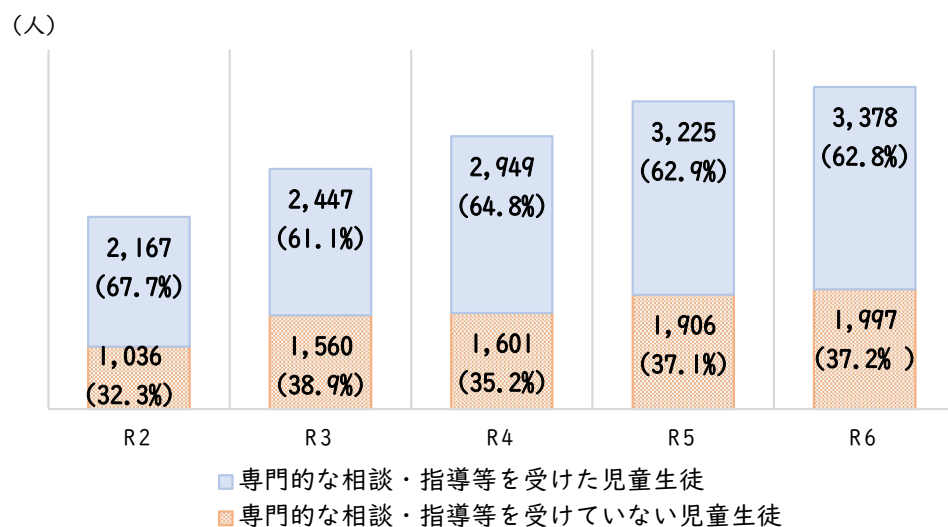
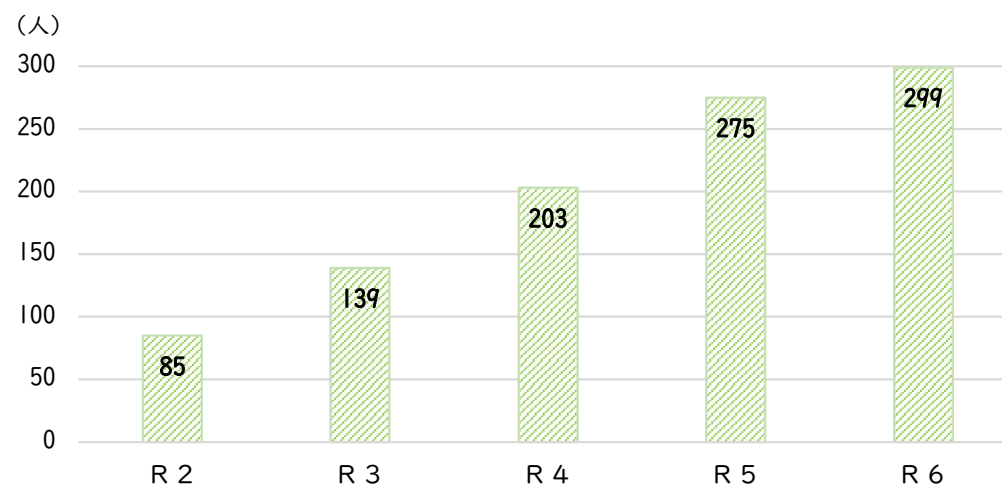
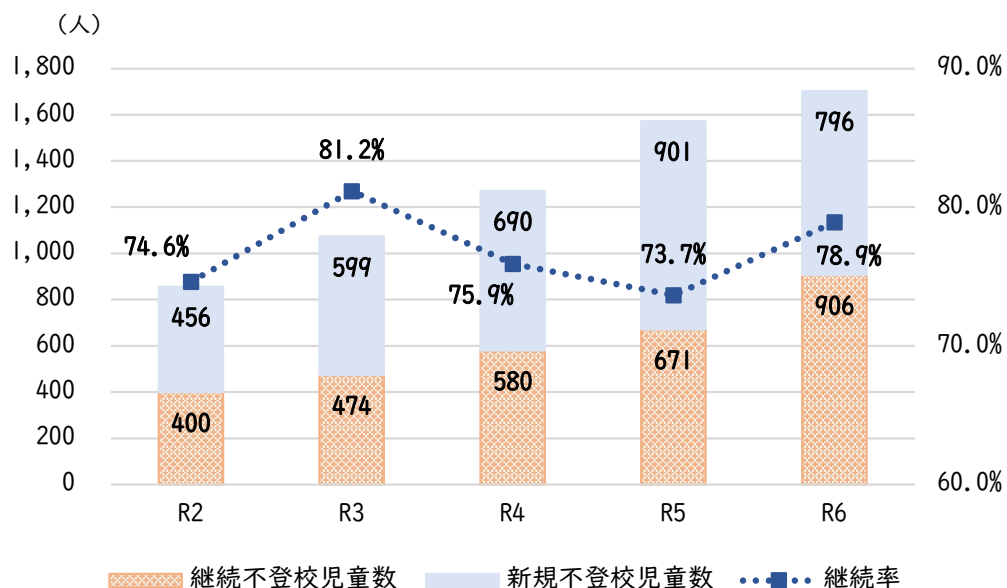


図3 民間施設等で相談・指導等を受けた児童生徒数の推移



新規不登校児童生徒数（小中学校・高等学校）、不登校継続率の推移（小中学校）

図4 新規不登校児童数および不登校継続率の推移（小学校）



○ 新規不登校児童生徒数は、小学校796人（前年度901人）、中学校1,023人（前年度1,100人）、高等学校565人（前年度590人）で、いずれの学校種においても減少した。

○ 不登校継続率（前回調査で不登校に計上された者のうち、今回調査でも不登校に計上された者の割合）は、小学校78.9%（前年度73.7%）、中学校79.2%（前年度78.1%）で、いずれの学校種においても増加した。

※1 継続不登校児童生徒：前回調査で不登校に計上された者のうち、今回調査でも不登校に計上された者。

※2 新規不登校児童生徒：前回調査では不登校に計上されなかった者。

※3 高等学校においては、学年別で調査していない単位制の生徒が含まれるため、継続率は算出できない。

図5 新規不登校生徒数および不登校継続率の推移（中学校）

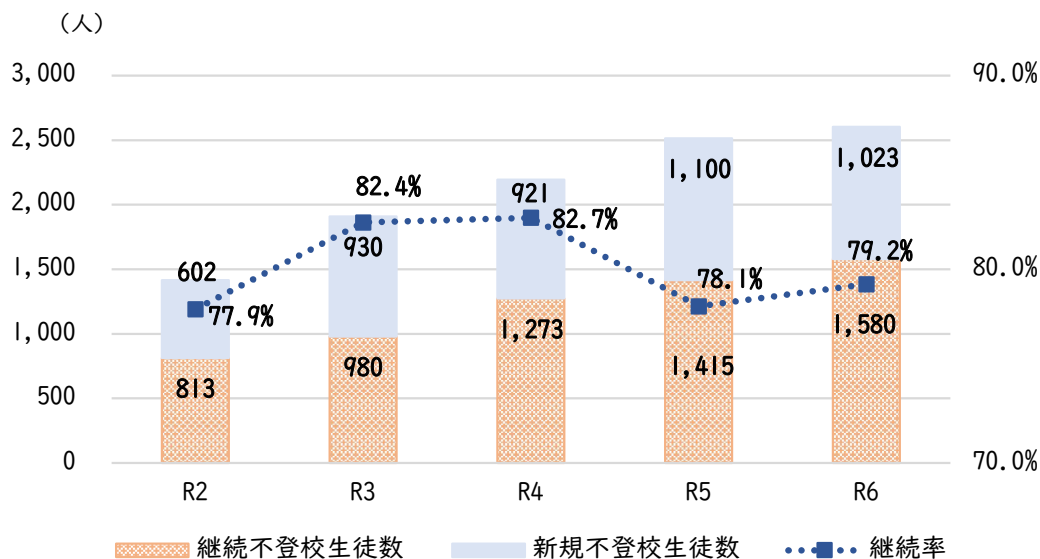
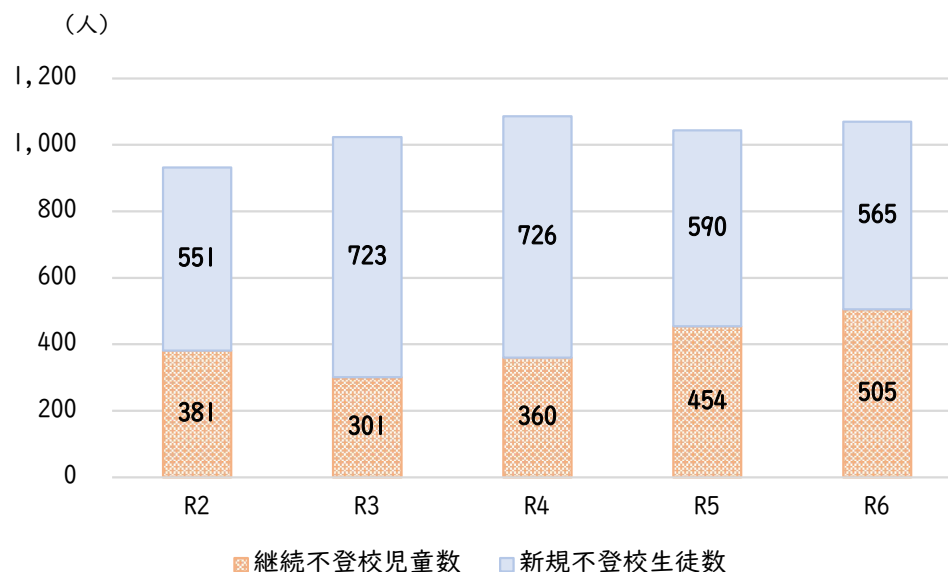


図6 新規不登校生徒数の推移（高等学校）



学年別・欠席期間別不登校児童生徒数

- 小学1年生、中学1年生における不登校児童生徒数は前年度から減少したが、小学4年生、6年生、中学2年生が増加した。
- 高等学校の単位制における不登校生徒数は前年度から減少したが、全日制の各学年は増加した。
- 不登校児童生徒のうち、90日以上欠席した者は、小学校で約4割、中学校で約6割、高等学校で約2割であった。

図7 学年別不登校児童生徒数

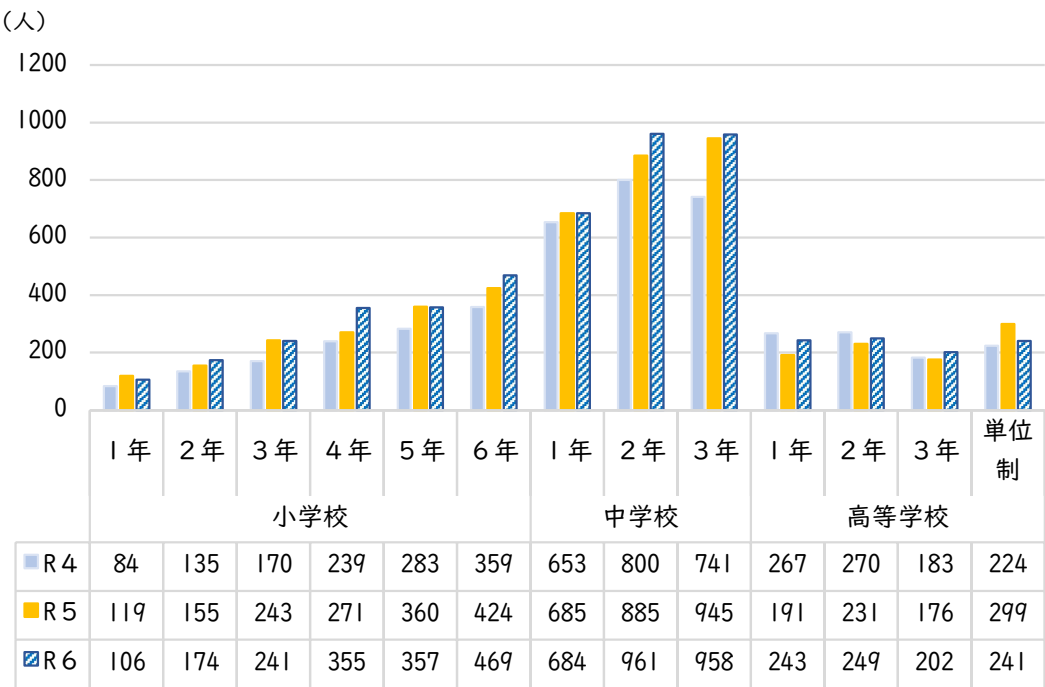
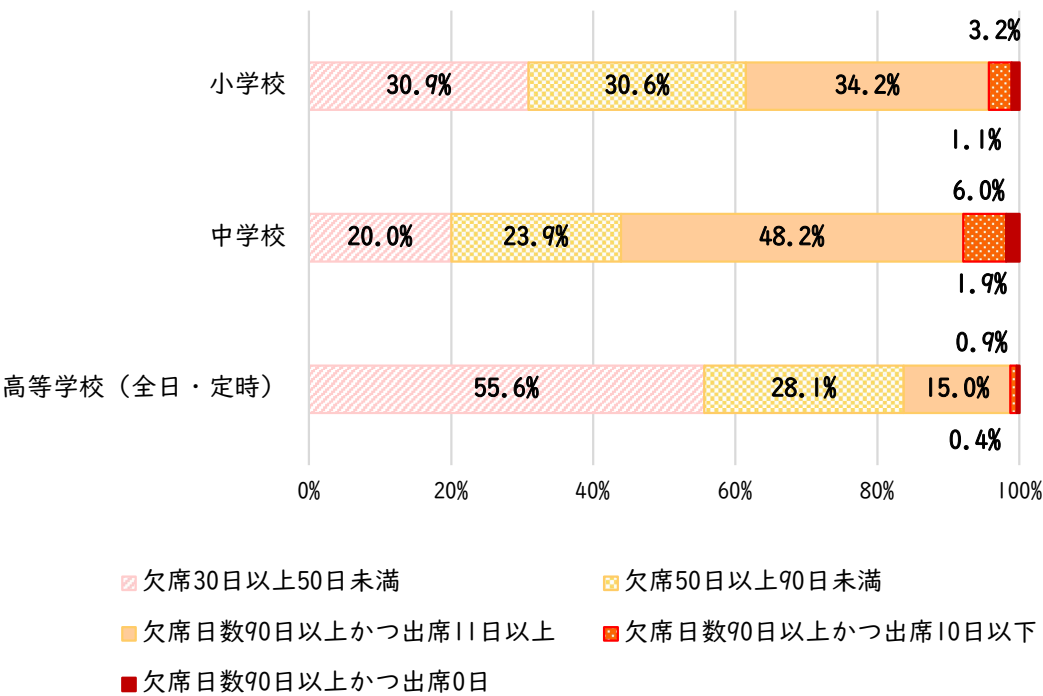


図8 不登校児童生徒の欠席期間別の割合



不登校児童生徒について把握した事実

- 小学校では、「生活リズムの不調に関する相談があった」（34.5%）、「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった」（31.0%）、「不安・抑うつに関する相談があった」（30.1%）」の順となった。
- 中学校では、「不安・抑うつに関する相談があった」（33.6%）、「生活リズムの不調に関する相談があった」（33.4%）、「学校生活に対しやる気が出ない等の相談があった」（28.6%）の順となった。
- 高等学校（全日制）では、「学校生活に対しやる気が出ない等の相談があった」（26.8%）、「不安・抑うつに関する相談があった」（25.3%）、「生活リズムの不調に関する相談があった」（24.6%）の順となった。
- 高等学校（定時制）では、「学校生活に対しやる気が出ない等の相談があった」（56.5%）、「生活リズムの不調に関する相談があった」（39.1%）、「あそび、非行に関する情報や相談があった」（13.8%）の順となった。

図9 不登校児童生徒について把握した事実

	左記該当なし	個別の配慮についての求めや相談があった	障害（疑い含む）に起因する特別な教育的支援の求めや相談があった	不安・抑うつに関する相談があった	学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった	あそび、非行に関する情報や相談があった	生活リズムの不調に関する相談があった	親子の関わり方に関する問題の情報や相談があった	家庭生活の変化に関する情報や相談があった	転編入学、進級時の不適応に関する相談があった	学校のきまり等に関する相談があった	学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた	教職員との関係をめぐる問題の情報や相談があった	いじめ被害を除く友人関係をめぐる問題の情報や相談があった	いじめの被害の情報や相談があった
小学校	0.7%	18.4%	15.9%	30.1%	31.0%	2.4%	34.5%	26.3%	17.7%	5.0%	2.9%	24.8%	7.8%	16.4%	2.1%
中学校	0.3%	12.4%	7.8%	33.6%	28.6%	5.5%	33.4%	18.7%	11.8%	7.7%	4.1%	23.4%	3.2%	17.0%	1.6%
高等学校（全日制）	1.6%	1.5%	5.5%	25.3%	26.8%	3.0%	24.6%	10.3%	5.2%	9.2%	1.1%	14.4%	1.6%	13.1%	0.3%
高等学校（定時制）	0.0%	0.0%	1.4%	10.9%	56.5%	13.8%	39.1%	7.2%	2.9%	6.5%	3.6%	8.0%	0.7%	3.6%	0.0%

※不登校児童生徒全員につき、当てはまるものすべてを回答

※赤：最も多い回答 緑：2番目に多い回答 青：3番目に多い回答